

三菱電機(株)(東京都千代田区丸の内2-7-3)は、03-3218-1211は、産業・車載用液晶パネル/モジュールの製造子会社「メルコ・ディスプレイ・テクノロジ(株) (MDTI) 泗水工場」(熊本県菊池市)の隣接地に技術管理棟を新設すると発表した。投資額は約10億円。2014年3月に着工し、同

年10月に竣工、15年1月から順次稼働を開始する。新棟は、敷地面積14万4660㎡に地上2階建てS造り延べ床面積約40000㎡の規模で建設する。環境・省エネ対策として全フロアにLED照明や断熱複層ガラス、高効率型空調機を導入する。竣工後、現在はパワーデバイス製作所熊本工場(熊本県合志市)内に

ある液晶事業統括部(開発・設計部門)を移転、集約する。約170人が順次移り、さらに約20人を増員する予定。産業車載用モジュールのインターフェースの高機能化に対応し、新技術・新製品の開発を加速しつつ業務効率を改善する。

同社の液晶事業は1992年にスタートし、生産子会社のMDTIは2002年に設立され、それぞれ昨年20周年と10周年を迎えた。売上高は12年度実績が

330億円、13年度の計画は400億円。国内のほか韓国、台湾、中国などのアジア諸国、米国、欧州に販売している。市場規模は約1200億円あり、同社はシェアを12%、12年度ベ

を検討しているという。おひ、車載用に至っては年率5~10%の伸びが期待できる。生産拡大の見通しが立てられることから技術管理棟建設に踏み切る。開発と生産を一体化させることで顧客対応を迅速化し、新規受注増につなげたい」と抱負を語った。

なお、移転後に熊本工場にできる空きスペースはパワーデバイスの強化に活用を検討しているという。

アップライト マテリアルズ(AMAT、米カリフォルニア州サンタクララ、日本法人=東京都港区海岸3-20-20、03-6812-1680)は、酸化物質による超高精細ディスプレイの量産に向けた新型スパッタリング装置「AKT-Print 5SK-DT PVD」(写真)ならびに「インペックVD装置」(AKT-5SKS-PECVD)を開発した。

酸化物質半導体ベースのFTは、消費電力が少なく、高精細なスマートフォンやタブレット、有機ELディスプレイのパネルを実現するとともに、将来は4Kテレビにも採用されると予測され

VIEW FPD International 2013

今年で20回目を迎えた液晶や有機ELなどのフラットパネルディスプレイ総合技術展「FPD International 2013」が10月23(25日)の3日間、パシフィコ横浜で開催された。4Kテレビや有機EL、タッチパネル技術など、今後の映像技術を牽

引する最先端の関連製品・部材・技術が数多く出展された。本稿では主要出展社の展示概要をレポートする。

◇◇◇
タン科学は、業界初の

のパターン付き小判ガラス両面の各種汚れを洗浄・除去。ガラス基板の平面部は接触せずに端面をローラー駆動させ、川幅方向のサイズも変更できる。ガラス端面をローラ

たせるためにテープ厚が300μm程度になる。SVRは面全体で貼り合わせるため、300μmよりも薄い膜厚で接合でき、FPDパネルの薄型化にも寄与する。

ニコンは、光学素材に関する90年以上の歴史を有するが、その優れた独

板「スーパーフラットマスク」は、高精細液晶パネルや有機ELパネルなどの露光に最適化された製品。特に、露光特性を安定させるために、マスク全面で7μm以下、ロ

のシェアを持つリーディングメーカーだ。非常に高精度のエア・ベアリング・システムは、半導体のリソグラフィ関連装置などにも多く採用実績を有している。日本にも物流センターならびにテクニカルセンターを設立しており、充実したネットワークで国内顧客をサポートしている。

単軸ロボット「RKシリーズ」は、ボールねじとU字形状のガイドレールを一体化したステーションのナットとリニアガイドウェイのブロック機能を併せ持つスライドブロックを取り付けている。

次世代映像技術を支える装置・部材



空中搬送型洗浄装置「DA CCO-061-3L」を2012年に開発。13年初頭からはパネルメーカーへ納入され、現在はデモ機での実験や引き合いが増えつつあるという。同装置は、4.57インチ

で挟んで搬送するため、スリップなどの傷がガラス面につかず、パターンへのダメージが全くない。さらに同装置は、専用の機能水生成装置を搭載。界面活性剤や化学合成物質などを用いないため、環境に優しい洗浄を実現している。

テクセリアルズは、エアキャップを埋めることで視認性向上に寄与する「光学弾性樹脂」(SVR)を展開する。一般的

ユルにSVRを用いたトップアプレートを貼り合わせた場合は、光のロスを4%程度に抑えられることから、同じバックライトの光量でも視認性を大きく高めることができる。

さらに、トップアプレートの貼り合わせに画面テープなどを用いた場合は、貼り合わせ強度を持

引き合い状況について「モバイル開発などが活発化しており、1月から順調に推移している。例年、秋ごろには受注が下がるが、今年は10月からさらに需要が伸びている」と担当者は語る。

HIWIN MIKRO SYSTEMは、モーションコントロール&システム分野で業界第2位

高精細化や薄型化がテーマに

FPD International 会場風景

同装置は、4.57インチ

一般的

幅広く展開している。

OSYSTEMは、モ

軽量、そしてコストパフォーマンスの優れた製品

清水聡記者

FPD

日立ハイテク FPD事業
上期は売り上げ半減
 有機EL装置2台受注

(株)日立ハイテクノロジーズ(東京都港区西新橋1-24-14、03-35504171)が発表した2013年度上期(4~6月)のFPD製造装置売上高は、前年同期比49%減の25億円となった。アジア市場における有機EL関連設備

FPD

日立ハイテク FPD関連製造